

公表:令和5年 3月 31日

事業所名 ライオン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学習と遊ぶスペースを分けて場所を広く使えるように工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			国の配置基準に沿って配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全を第一に、2階の窓に柵や階段に滑り止めなどをして配慮しています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議やGSVで話し合い、振り返っています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの保護者の意向を理解して業務改善に努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部評価を行って、業務がよりよく改善出来るように努めています。	コンサルテーションを受けてアドバイスをもらい、必要に応じて業務改善を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年数ごとの研修やリーダー研修、など定期的に行っている法人内の研修に参加しています。	積極的に研修に参加し、学びを深めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			CSPのアセスメントツールを活用しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議で話し合っ活動プログラムを作っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			クラスで話し合い、室内活動や外活動、制作など様々なプログラムを計画しています。	活動のバリエーションを増やしていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日では、学校から帰ってきて、ほっとできる、安心の場の提供、また体を健康的に動かす設定をしています。長期休みでは、宿題を行う時間の確保も十分に取り入れています。	

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントをしっかりと行い、個別支援計画を作成しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に、その日の支援内容、役割分担を打ち合わせ確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後、子どもの様子や、活動の振り返りを行って次につなげられるようにしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援内容について毎日記録をしています。	ケースカンファレンス、クラス会議で情報共有しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、デイサービス計画の見直しの必要性を判断しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に沿って支援しています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況を理解し参加にふさわしい職員が参加するように努めています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者に同意を得た上で、送迎のミスが無いように、2重3重にチェックをして、間違いの無いように情報を共有し、連携しています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	/	/
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	/	/
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域の公園で遊ぶときに、同じクラスの子どもが来ること上がり、一緒に鬼ごっこなどをする機会を設けている。	コロナ感染予防のために積極的に交流することはなかったです。感染状況を見て今後は検討します。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や電話で連絡するなど、保護者に連絡取るように努めています。	日頃からのコミュニケーションを大切にしていきます。

保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者に対して毎月のグループカウンセリングとペアレントトレーニングを行っています。	未参加の保護者への参加を促していきます。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者との面談を行っています。または電話で連絡をとるなど支援しています。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母会の活動を支援して保護者同士の連携を支援しています。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は苦情対策マニュアルに沿って対応します。	真摯に向き合い、速やかに解決することを目標としています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			書類は書庫に施錠して保管して管理しています。	
	③6	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			事業所内相談を行ったり、送迎の折に話したり連絡を取るよう努めています。	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			散歩の時に出会った地域のかたに挨拶するなどの交流はありました。	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			玄関に各マニュアルを提示して職員や保護者に周知しています。	
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月火災、地震などを想定した避難訓練を行っています。	
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人の虐待防止委員会の計画にそった研修に参加しています。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画に記載して保護者に説明して同意を得ています。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づく対応をしています。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人全体でヒヤリハット事例を共有して安全に配慮するように努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。